

平成 21 年 12 月 22 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー
ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員 鈴木 博之
(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役 鈴木 博之
問合せ先 管理本部長 板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2009 年 11 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2009 年 11 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目		11 月度	対前年 同月増減 注6)	(参考) 累計 注7)	(参考) 対前年 累計増減 注8)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	73.3%	-2.3%	73.2%	-3.7%
	ADR (円)	14,184	-3,116	14,840	-1,413
	RevPAR (円)	10,391	-2,679	10,857	-1,642
	売上高 (百万円)	611	-94	1,668	-77
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	84.8%	-6.8%	89.3%	-2.6%
	ADR (円)	17,010	-3,516	17,128	-2,384
	RevPAR (円)	14,429	-4,377	15,294	-2,639
	売上高 (百万円)	605	-78	1,676	-213
なんばオリエンタルホテル	稼働率	84.0%	-3.0%	80.8%	-4.6%
	ADR (円)	9,409	-2,073	9,170	-1,754
	RevPAR (円)	7,908	-2,082	7,406	-1,920
	売上高 (百万円)	148	-18	431	-52
ホテル日航アリビラ	稼働率	57.8%	-15.1%	68.7%	-17.6%
	ADR (円)	19,235	-448	23,869	1,022
	RevPAR (円)	11,125	-3,230	16,392	-3,309
	売上高 (百万円)	303	-67	1,145	-224
オリエンタルホテル広島	稼働率	78.5%	-0.6%	76.0%	-3.3%
	ADR (円)	9,161	-288	9,205	93
	RevPAR (円)	7,190	-284	6,995	-234
	売上高 (百万円)	216	-26	578	-36
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,882	-282	5,498	-603

11 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、価格訴求型商品の積極的な販売により稼働の取り込みを強化したものの、景気停滞の影響により、稼働率及びADR共に前年同月を下回ったため、売上も前年同月を下回りました。料飲部門において、レストラン部門は昼食売上が前年同月を上回ったものの、宿泊稼働減少に伴う朝食売上の減少により売上が前年同月を下回り、婚礼宴会は前年同月の日並びの良さがなくなったこともあり、施行件数が前年同月を下回ったため、売上も前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約94百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では、東京ディズニーリゾート25周年の集客効果剥落及び競合施設間の価格競争が強まり、稼働率及びADR共に前年同月を下回ったため、売上も前年同月を下回りました。レストラン部門では、宿泊者数の減少により朝食売上が減少した他、景気停滞の影響を受け昼食・夕食売上が減少し、前年同月の売上を下回りました。婚礼宴会の売上は新チャペルオープンの効果等により前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約78百万円下回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、価格訴求型商品の積極的な販売により稼働の取り込み強化をしたものの、景気停滞の影響により、稼働率及びADR共に前年同月を下回ったため、売上も前年同月を下回りました。レストラン部門では過去実施してきた集客施策が奏功し、売上が前年同月で上回ったものの、ホテルの総売上は前年同月を約18百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、インフルエンザ及び景気停滞の影響による旅行控えの継続により、沖縄への入島者数の前年同月での下落幅が広がる中、ADR及び稼働率共に前年同月を下回り、売上も前年同月を下回りました。料飲部門では、各種施策により夕食の摂食率は改善したものの、宿泊者数の減少に伴う影響により、売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約67百万円下回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、集客チャンネルを拡充し需要取り込みを強化したものの、景気停滞の影響を受け、売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、レストラン部門は各種施策により、前年同月の売上と同水準を維持したものの、婚礼宴会売上が件数減少により前年同月を下回ったため、売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 26 百万円下回りました。

※ご参考

新型インフルエンザの影響について

11 月度における新型インフルエンザを起因とした予約キャンセル額（直接的影響）、オリエンタルホテル東京ベイで約 1 百万円、なんばオリエンタルホテルで約 2 百万円、ホテル日航アリビラで約 2 百万円、オリエンタルホテル広島で約 2 百万円となっており、5 ホテル合計では約 7 百万円でした。

注 1) 上記のコメントは資産運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご留意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 3) ADR：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注 4) RevPAR：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

- 注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 6) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 7) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 8) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

*本投資法人のホームページアドレス：<http://www.jhrth.com/>